

## もくじ

2-7	特集～高生産性の水産業をめざして～
8-9	風探県記～ゴミ・水問題を考えるの巻～
10-11	風 彩～浜田知明さん～
12-13	風工房～来民うちわ～
14-15	一章一景～種山石工の足跡～
16-17	新・熊本散歩～種山石工の足跡～
18-21	新しい風～クマモト国際交流週間～
22-23	風の伝
24-25	熊本かわら版
26	もっこす味・わさもん味～タコめし～
27	風の美術館～「黒」坂本善三～

## 表紙のことば

砂浜から見える青い海、そして青い空。ひとくちに「青い」と言っても、2、3本のパステルではとても表現できない美しさがあります。この青がいつまでも色あせずにあつてほしいものです。 松村美江

## 編集雑感

▶窓の外は海。父の仕事場、つまり家族の生活を左右する海。台風が来るたびに荒れ狂う海。幼い頃、私にとって海は“怖い”存在だった。でも、帰郷するたびに、海の“匂い”にホッとさせられる。打ち寄せる波も、行き交う漁船の音も、やさしく私の心を癒してくれる。そして「びえんばなめる(刺し身を食べる)」その瞬間、牛深に生まれた喜びに浸ることができる。故郷を離れて、故郷の海が好きになった。(守)

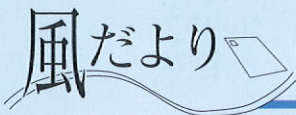
▶いまの社会に生きる我々に求められているのは、それぞれの「自己実現」である。「自己実現」という経験こそ、ゆたかさを実感することに他ならない。

作品の前に足を止め、しばし対峙(たいじ)する。まもなく作者の強烈な個性が伝わってくる。会話が弾む。この会話は、ゆたかさ論議である。(敬)

## 愛読者募集

県では、県広報誌「くまもとの風」の愛読者を募集しています。「くまもとの風」は、くまもとの新しい動きやユニークな人、県下各地の催物などを、写真やイラストを織り混ぜて紹介する広報誌です。あなたも、この機会に「くまもとの風」で素敵な出会いを経験してみませんか。

■発行/偶数月発行 年6回 ■郵送料として/1,620円(郵便切手をお願いします。) ■お申し込みは/〒862-70 熊本県広報課「くまもとの風」係



## お便り募集

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を200～400字程度にまとめてお送りください。(採用された方には「風テレホンカード」をプレゼント)

●あて先

〒862-70 熊本県広報課  
「くまもとの風」係 ☎(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。

06	総	広
3	003-2	

熊本県広報誌「くまもとの風」130号

平成6年8月1日発行(年6回・偶数月1日発行)

企画・監修・発行/熊本県広報課・熊本市水前寺6丁目18番1号

☎(096)382-9780

企画・構成・印刷/(株)城野印刷所 編集・取材/(有)スタジオ談



この印刷物は再生紙を使用しています。